

iTunesU KOSEN 利用 ガイドライン

大学間連携共同教育推進事業

「分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証」

2015/02/04

1 iTunesU とは

iTunesU は Apple 社が提供するオープン・エデュケーション・プラットフォームです。iTunesU では利用者（学生や社会人など）が教育用コンテンツ（動画や PDF など）を無料でダウンロードすることができます。

この度、iTunesU 上に高専機構全体で利用できるチャンネルとして iTunesU KOSEN を開設いたしました。本ガイダンスでは、各高専が iTunesU KOSEN に授業等の動画を公開する方法について説明します。



図 1 : iTunesU KOSEN の画面(ブラウザで表示)

2 iTunesU KOSEN に動画を公開するには

動画を公開する流れは、下図になります。本説では、下図に従って授業や実験の動画を撮影、編集、エンコードを行った公開用動画の公開方法について説明します。ここでは、函館高専の方法を一例として挙げさせていただきます。なお、撮影、編集、エンコードに必要な機材・ソフトウェア等は、各校の環境等に合わせてご用意ください。

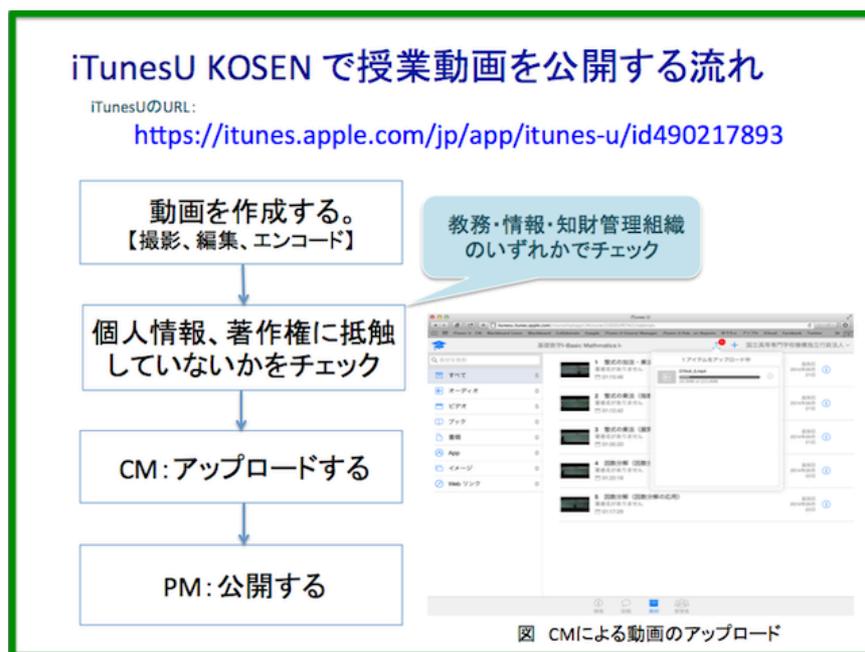


図 2 : iTunesU KOSEN で授業動画を公開する流れ

2.1 動画を作成する

2.1.1 動画の撮影

授業や実験、その他動画にして iTunesU KOSEN 上で公開すべきコンテンツを選定いただき、ビデオカメラ等で撮影します。函館高専では、公開する授業・実験を市販のデジタルビデオカメラで撮影しています。授業撮影時、三脚などでデジタルビデオカメラを固定しています。画面には、黒板、プロジェクターのスクリーンなど授業で学生に提示する情報が全て映るよう、ビデオカメラのフォーカス設定をした上で、撮影を行っております。

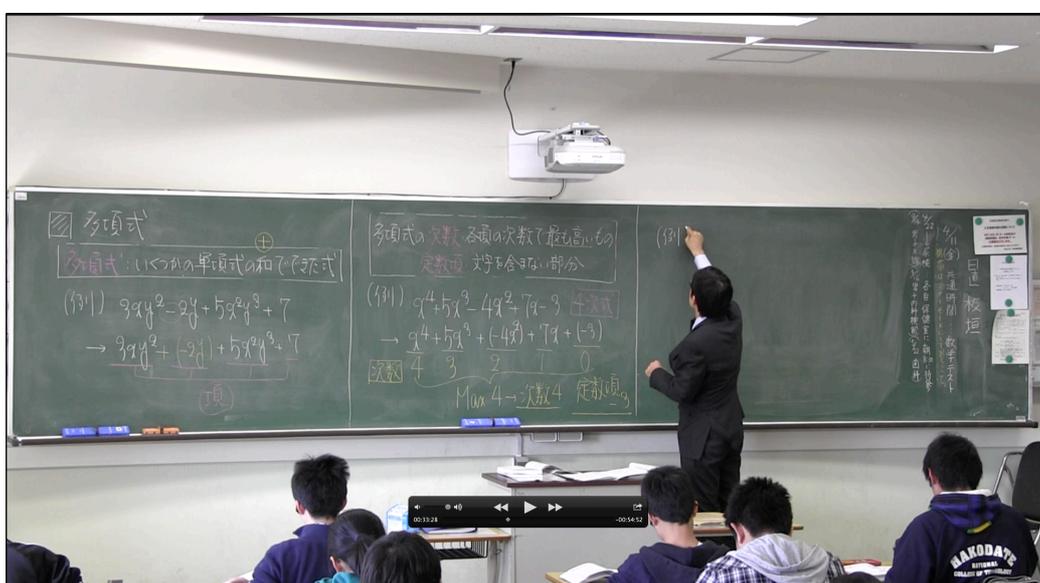


図 3 : 授業の撮影例

2.1.2 撮影動画の編集

撮影した動画を必要に応じて編集を行います。例えば、授業動画の場合、単元ごとに動画を分けるなどの際は、編集が必要になります。函館高专では、撮影した授業動画を Adobe 社の **Premiere Pro** にて編集しています。編集点としては、生徒個人の映りこみおよび生徒指名時の音声、休み時間をカットしています。



図 4 : Premiere Pro を用いた動画編集

2.1.3 エンコード

必要に応じて動画容量の圧縮を行います。函館高専では、ストリーミング配信のため動画容量を圧縮するために授業動画を以下の設定でエンコードしています。函館高専使用しているソフトウェア **Premiere Pro** におけるエンコード設定は、表 1 になります。

※ iTunesU の推奨するビデオファイルは、MPEG-4 の H.264 圧縮であり、mp4、m4v、mov などの拡張子があるビデオファイルです。

表 1 : Premiere Pro でのエンコード設定 (函館高専の場合)

形式	H.264
プリセット	Apple720
出力名	科目 ID+アンダーバー+連番
ターゲットビットレート	1
最大ビットレート	1.2

2.2 個人情報、著作権について

iTunesU KOSEN に公開する前に、各高専の情報セキュリティ実施規則等、著作権、各高専・教員が保有する権利等の確認を必ず行ってください。なお、各校の教務、情報、知財管理等、適切な組織において確認を行ってください。

※函館高専の場合、学生の顔が写らないように、撮影および編集を行っています。学生の顔が写った場合は、顔の出ているシーンをカットする、もしくはモザイクを用いて動画編集を行っています。また指名や発言などで、学生の本名が聞こえる場合は、本名の部分を動画編集ソフトでカットしています。

2.3 動画をアップロードする

動画のアップロードは、Course Manager(=CM)が iTunesU Course Manager で行います。CM 権限を設定した、Apple ID で iTunesU Course Manager にログインし、授業のコースを作成し、公開したい授業動画を、アップロードします。アップロード後にコース ID を各高

専公開担当者に連絡します。

※Course Manager の使用方法は、以下の URL を参照ください。

<https://www.apple.com/jp/support/itunes-u/course-manager/>

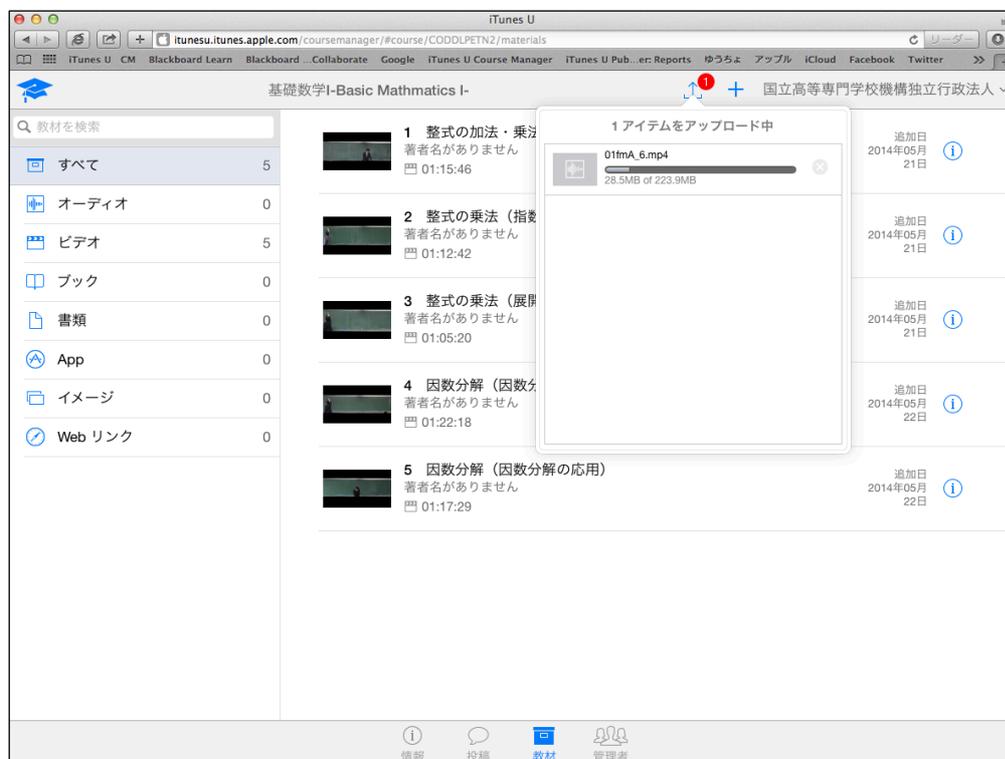


図 5 : Course Manager 上で動画をアップロード

2.4 動画を公開する

動画をアップロード後、iTunesU Public Site Manager にログインし、Apple 社へ公開申請を行います。なお、コース公開まで 3~4 営業日必要です。

公開申請は、各高専の iTunesU 公開担当者となる Public Site Manager(=PSM)が行います。各高専の PSM 権限を取得するには、「iTunesU KOSEN 利用ガイドライン」9 ページの要件を満たすことを確認してから申請を行ってください。

※各高専の PSM が不在の場合

公開したい動画に対して、情報セキュリティ実施規則、著作権、各高専・先生が保有する権利等に抵触していないことを各高専にて確認いただき、函館高専

Public Site Manager (itunesu@hakodate-ct.ac.jp) に登録コードをお知らせ願います。Apple 社に公開申請します。なお、本例外規定は、大学間連携共同教育推進事業が継続時に限ります。

3 問い合わせ先

iTunesU KOSEN に関してご不明な点がございましたら、
以下大学間連携共同教育推進事業担当者までお問い合わせください。

mcc_kosen@hakodate-ct.ac.jp

函館高専総務課：大学間連携共同教育推進事業担当

iTunesU KOSEN 利用ガイドライン

はじめに

平成 25 年度、高専機構に所属する全ての高専が利用できるように、Apple 社のサービスである iTunesU 上に高専機構全体のチャンネル iTunesU KOSEN を作成した。本文章は各高専で利用するための運用ガイドである。

iTunesU KOSEN の目的

iTunesU KOSEN では、3 つの対象、高専所属の学生、高専に将来進みたいと希望する全ての人、並びに社会人のために、高専の教育コンテンツをコースとして提供することを目的として設置された。

高専所属学生に対しては、振り返り学習、先取り学習などの自学自習のコンテンツ及び、能動的学習のためのビデオ素材コンテンツ、教材コンテンツなどを準備することを目的としている。

高専への入学を希望する国内外を問わない全ての人に対しては、高専の授業の内容を紹介し、その特色がわかるようなコンテンツを提供し、必要であれば、リメディアル教育を施すためのコンテンツを提供することを目的としている。

社会人については、卒業生並びに関連分野で就業している人のための、学び直し、地域貢献としてのコンテンツ、学生の保護者に対しての情報公開、外部機関に対しての教育の質の保証等に利用することを目的としている。

iTunesU KOSEN の基本的な仕組み

iTunesU KOSEN には、コース（群）を提供する Site とそれぞれの Course がある。iTunesU KOSEN を運用する上で以下 4 つの役割が存在し、それぞれの役割について説明を行う。

- ・ 高専機構 Public Site Manager (=PSM)

各高専から PSM の申請を受け取り、各高専の PSM を設定

iTunesU KOSEN 全体の管理

- ・ 各高専 Public Site Manager (=PSM)

Site の外観を決め、コースを公開

Site Collection といったカテゴリ作成

公開設定された配下コースの表示・非表示設定

Course Manager を Site へ登録 など

- ・ Course Manager (=CM)

コースの作成

作成済みコースの公開・非公開を設定

非公開コースへコース受講者の招待設定 など

Course Contributor の招待（5 人まで）

- ・ Course Contributor (=CC)

Course Manager の補助的な役割を担う

※高専機構 Public Site Manager (=PSM)は、函館高専がその任にあたる

連絡先：mcc_kosen@hakodate-ct.ac.jp

（平成 24 年度採択 文部科学省大学間連携共同教育推進事業「分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証」の事業終了後は、高専機構本部に PSM 権限を移行する。）

※コース作成については、以下コースガイドラインを参照のこと。

<https://ssl.apple.com/jp/education/resources/docs/iTunesUCourseGuidelines092612.pdf>

各高専における iTunesU KOSEN 登録・運用方法について

各高専は、高専機構の PSM へ各高専用 PSM アカウントを申請することが出来る。以下は申請要件となる。

・各高専の PSM アカウントは、教務・情報・知財管理組織のいずれか、もしくはそれに準じる組織で運用を行うこと。

・各高専の PSM アカウントは、該当組織名のメールアドレスで Apple ID を発行すること。なお、そのアドレスは常に、学内の教職員によって管理され、運用されていること。

・PSM アカウントは、基本的には自校以外の動画コンテンツ編集をしないことを確約すること。また、学内運用規定としてその旨を記載しておくこと。

・各校の PSM アカウントの運用を担う組織は以下の事を実施し、各高専における iTunesU コース群の管理を行うこと。

- ✓ 各高専の PSM 組織は、iTunesU KOSEN のトップページに自校のカテゴリを設置すること。
- ✓ 各高専の PSM 組織は、コースに関する知的所有権に関する最終的な判断を行うこと。
- ✓ コース作成における知的所有権に関するガイドライン及び CM、CC 用のチェックシートを作成すること。
- ✓ 最終判断チェックシートを電子または紙媒体で保存すること。
※なお、授業等のコンテンツに関する著作権については高専機構規則に準ずる扱いとする。
- ✓ 各高専の PSM 組織は、常勤・非常勤にかかわらず教職員を CM として登録することができる。但し、CM として登録できる ID は各高専ドメインのアドレスの物に限る。
- ✓ 各高専の PSM アカウントは CM の CC として必ず登録すること。
- ✓ 公開コースを CM が作成した場合、PSM 組織は CM が作成した知的所有権に関する CM 用チェックシートを見分し、保管し、コースをチェックし、最終判断チェックシートに記入の上、表示させること。

- ✓ 知的所有権等に関連する事項として、所属学生、外部受講者等の肖像権の処理については当該高専において、iTunesU KOSENの位置づけを明確にし、学生、学校間での肖像権許諾条件を確認して運用を行うこと。
 - ✓ 重大な違反が確認できたコースは即刻削除をすること。
 - ✓ 重大な違反となる操作を行った CM、CC は、削除を行い、再発防止対策と共に違反内容を記録・保存すること。
 - ✓ 各高専の PSM 組織がその任をなさないとき機構 PSM が判断した場合には、当該高専のエリアを全て非表示とし、該当高専の PSM、CM アカウントも一時停止とする。
- ・各高専における CM は以下の事を行い、各個人のコースの作成を行うこと。
- ✓ CM 希望者は、学校ドメインのメールアドレスと同一の Apple ID を取得した上で、各高専の PSM 組織へ申請すること。
 - ✓ CM は、自らのコースの CC として必ず各高専の PSM アカウントを登録すること。
 - ✓ その他の CC に関しては、作業の内容に応じて登録を行うこと。
 - ✓ CM は自らが開発したコースについて、公開、非公開を選択することができる。非公開を選択した場合、Apple ID を用いることでコースの受講者を制限できる。
- ※Apple ID がわからない場合は、利用できないので注意すること。
- ✓ 公開・非公開にかかわらず、著作権等の知的財産権を侵害しないように十分な注意を払うこと。
 - ✓ 公開を選択した場合には、広く公開されるため、受講者の詳細情報は必要がないが、コース受講者は選べないため、学内の授業で使用する場合は注意を払うこと。
 - ✓ 公開を選択した場合には非公開の場合よりも詳細に著作権等に留意を行うこと。

参考資料：著作権に関して

<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/recordID/1440766>

各高専で PSM が準備されてない場合の運用について

各高専内で PSM を担う組織体制を整えられない場合、複数高専で利用を想定しているコースまたは高専機構全体に係わるコースを作成する場合には、機構 PSM が各高専の PSM に代わりその任に当たる。機構 PSM は、iTunesU 契約主体高専の函館高専 PSM がその任にあたる。